

故事成語 — 背水の陣

信乃ち万人をして先行せしめ、

出でて水を背にして陳す。

趙の軍望見して大いに笑ふ。

平旦、信大将の旗鼓を建て、

鼓行して井陘口に出づ。

趙壁を開きて之を撃つ。

大いに戦ふこと良久し。

是に於いて信・張耳詳りて鼓旗を棄て、

水上の軍に走る。

水上の軍開きて之を入れ、復た疾戦す。

趙果たして壁を空しくして漢の鼓旗を争ひ、

韓信・張耳を逐ふ。

韓信・張耳已に水上の軍に入る。

軍皆殊死して戦ひ、敗るべからず。

韓信はそこで一万の兵を先行させ、

関所を出て川を背にして陣を敷かせた。

趙の軍は遠くから眺めて大いにあざ笑った。

明け方、韓信は大将の旗を立て、

太鼓を打ち鳴らして井陘の関所に撃つて出た。

趙はとりでを開いて迎え撃った。

しばらくの間激しく戦った。

そこで韓信と張耳は相手を欺いて太鼓や旗を捨て、

川のほとりの軍に逃げ込んだ。

川のほとりの軍は陣を開いて味方を迎え入れ、再び激しく戦った。

趙は案の定とりでを空にして漢の太鼓や旗を争って奪い取り、

韓信と張耳を追った。

韓信と張耳はすでに川のほとりの軍に入っていた。

漢軍は皆決死の覚悟で戦い、破ることができなかった。

*韓信：漢の武將。

*井陘：中国の地名。
ここに趙軍が
集結していた。

*張耳：漢の武將。